



福戸地区生産組合

新潟県長岡市

組合長 中村 文和

PRポイント：適期作業とブロックローテーションによる安定した生産

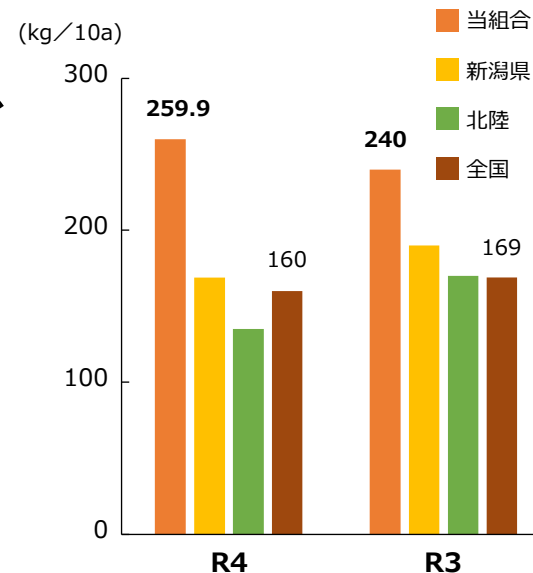
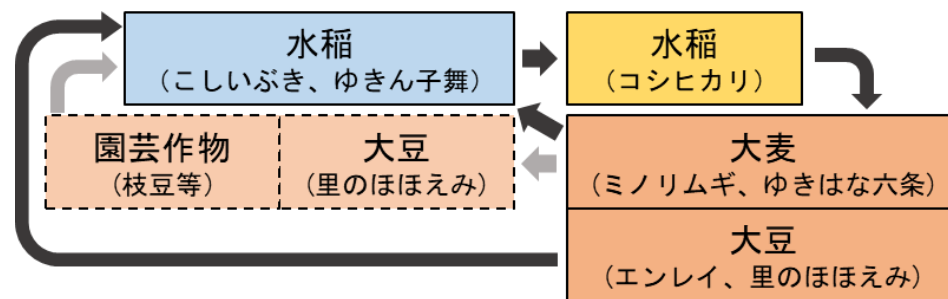
設立年：平成9年（5つの町内の転作組合を統合）

構成員：36名（R5年現在）

基幹作物：大麦・大豆

特徴：5つの町内がまとまり、話し合いの上で、**ブロックローテーション**による安定した輪作体系を構築。

【輪作体系イメージ】



【令和3年及び4年の単収】

栽培のポイント

○排水対策

- 1) 全圃場に弾丸暗渠施工
- 2) 水稻隣接圃場に明渠施工（団地化のため省力）
- 3) アップカットロータリーによる畝立て播種



○適期作業

- 1) 作業時期が重ならないように播種作業等は本部作業として担い手が行い、管理作業は町内で対応。
- 2) 関係機関の協力を得て、生育調査に基づく適期防除の実施。



経営のポイント

○低コスト化の取り組み

近年の肥料価格高騰に伴い、既存の大豆専用の元肥の価格が大幅に高騰したために、R 5 年は試験的に安価な化成肥料（高度化成14-14-14）で代用。
→収量・品質に影響は見られなかった。

大豆生産の課題

- **【課題】 雑草対策**
一部の圃場で**雑草の過繁茂**が毎年問題となっている。
- **【対策】 雑草を繁茂させないためには…**

パターン



培土と除草剤どちらを先にすれば効果的なのか？

そもそも畝立て播種に培土は必要なのか？



今後の展望

- 引き続き福戸地区の需給調整を担い、**輪作体系による所得確保**を目指していく。
- 栽培面においても、**収量品質の高位安定化**を目指して取り組んでいく。

